

ルーミス米国投資適格債券ファンド [毎月決算型]

追加型投信／海外／債券

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国の米ドル建て公社債に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中・長期的な成長を目指して運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2019年10月22日～2020年4月20日

第193期	決算日：2019年11月20日
第194期	決算日：2019年12月20日
第195期	決算日：2020年1月20日
第196期	決算日：2020年2月20日
第197期	決算日：2020年3月23日
第198期	決算日：2020年4月20日

第198期末 (2020年4月20日)	基準価額	8,022円
	純資産総額	5,524百万円
第193期～ 第198期	騰落率	3.7%
	分配金合計	90円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。
(注2) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

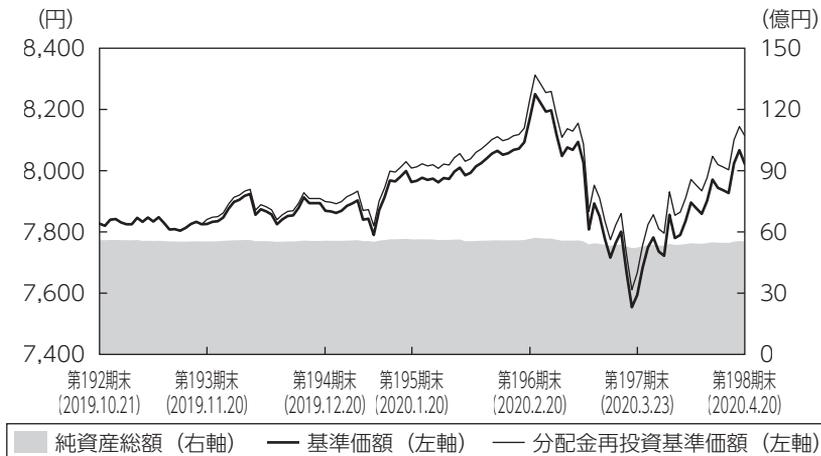
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



第193期首： 7,827円
 第198期末： 8,022円
 (既払分配金90円)
 騰落率： 3.7%
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

「ルース米投資適格債券マザーファンド」受益証券への投資を通じて、米国の投資適格債券に投資を行った結果、市況が上昇したことなどから、分配金再投資基準価額は上昇しました。

1 万口当たりの費用明細

項目	第193期～第198期		項目の概要
	(2019年10月22日 ～2020年4月20日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	58円	0.736%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は7,905円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(投信会社)	(32)	(0.409)	
(販売会社)	(24)	(0.300)	
(受託会社)	(2)	(0.027)	
(b) その他費用	2	0.023	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(保管費用)	(2)	(0.022)	
(監査費用)	(0)	(0.002)	
合計	60	0.759	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

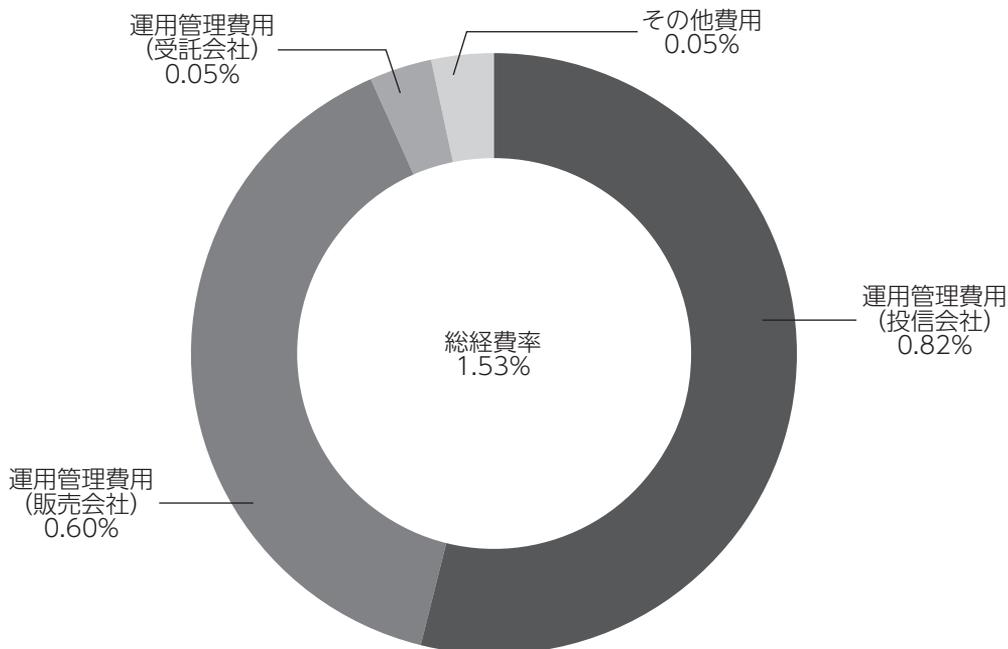
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.53%です。



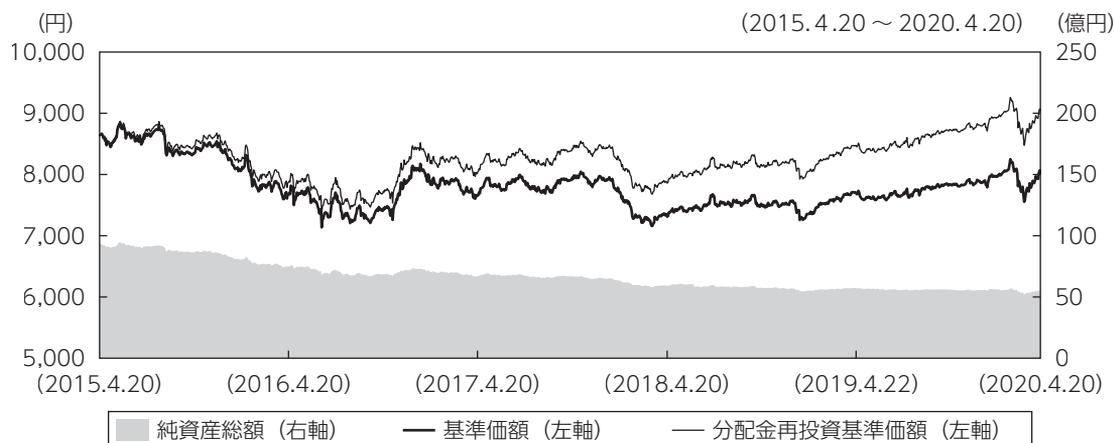
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



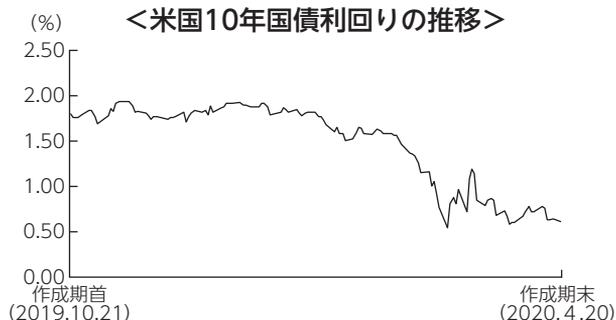
- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2015年4月20日の基準価額に合わせて指数化しています。

		2015年4月20日 期首	2016年4月20日 決算日	2017年4月20日 決算日	2018年4月20日 決算日	2019年4月22日 決算日	2020年4月20日 決算日
基準価額 (分配落)	(円)	8,642	7,674	7,656	7,311	7,696	8,022
期間分配金合計 (税引前)	(円)	—	210	180	180	180	180
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	△8.9	2.1	△2.2	7.8	6.7
参考指数の騰落率	(%)	—	△6.7	1.0	△2.0	9.3	8.1
純資産総額	(百万円)	9,309	7,474	6,689	5,896	5,716	5,524

- (注1) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。参考指数はブルームバーグ・パークレイズ米国政府ノクレジット指数 (為替ノーヘッジ・円ベース) です。参考指数については後掲の<当ファンドの参考指数について>をご参照ください。
- (注2) 参考指数は、基準価額への反映を考慮して前営業日の値を用いています。

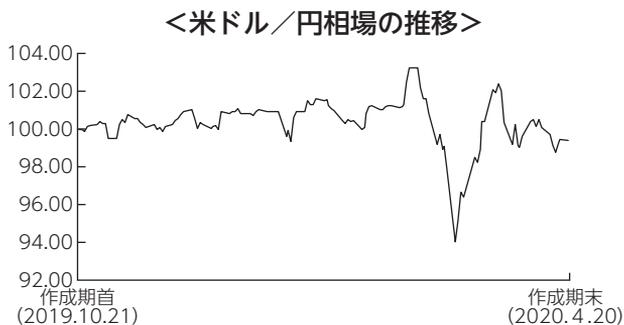
投資環境

● 海外債券市況と為替市況



米国国債市場は上昇（利回りは低下）しました。作成期前半は、米中貿易問題の動向をにらみ、概ね横ばいに推移しました。その後期末にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大懸念を受けリスク回避姿勢が高まったことなどから上昇しました。

米国の投資適格社債市場は上昇しました。信用スプレッドが金融会社やREITセクターを中心に全般的に拡大したことが下落要因となりましたが、米国国債市場が上昇したことが上昇要因となり、市場は上昇しました。



米ドルは対円で下落しました。

作成期前半は、堅調な米経済指標の発表などを背景にリスク選好姿勢が強まる中、米ドルは上昇しました。作成期後半は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に伴う世界景気の下押し懸念の高まりなどを背景に米国国債利回りが低下したことなどから下落しました。作成期末にかけて下落幅は縮小したものの、作成期を通じては下落しました。

ポートフォリオについて

●当ファンド

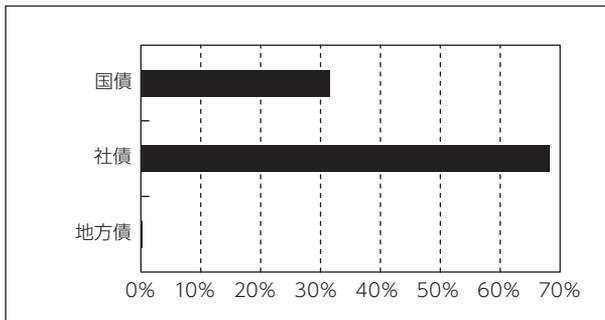
「ルーミス米国投資適格債券マザーファンド」受益証券の組入比率を高位に維持しました。なお、実質組入外貨建資産に対して為替ヘッジを行いませんでした。

●ルーミス米国投資適格債券マザーファンド

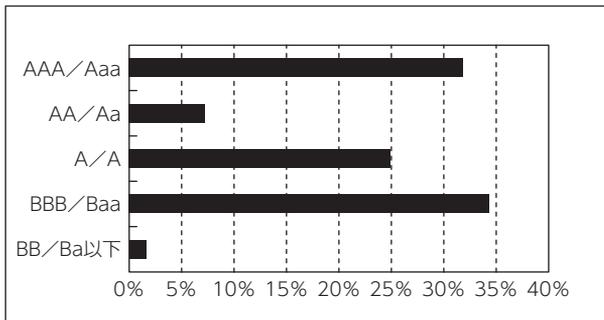
米国の投資適格債券に投資を行い、個別銘柄の選別により分散されたポートフォリオの構築を行いました。当作成期末時点における債券の組入比率は、国債を3割程度、普通社債を7割程度とし、組入比率を高位に維持しました。ファンド全体の加重平均格付については、当ファンドの運用の基本方針に従い、A格以上を維持しました。上記の通り運用を行った結果、市況が上昇したことなどから基準価額は上昇しました。

作成期末

〔種別保有比率〕



〔格付別保有比率〕



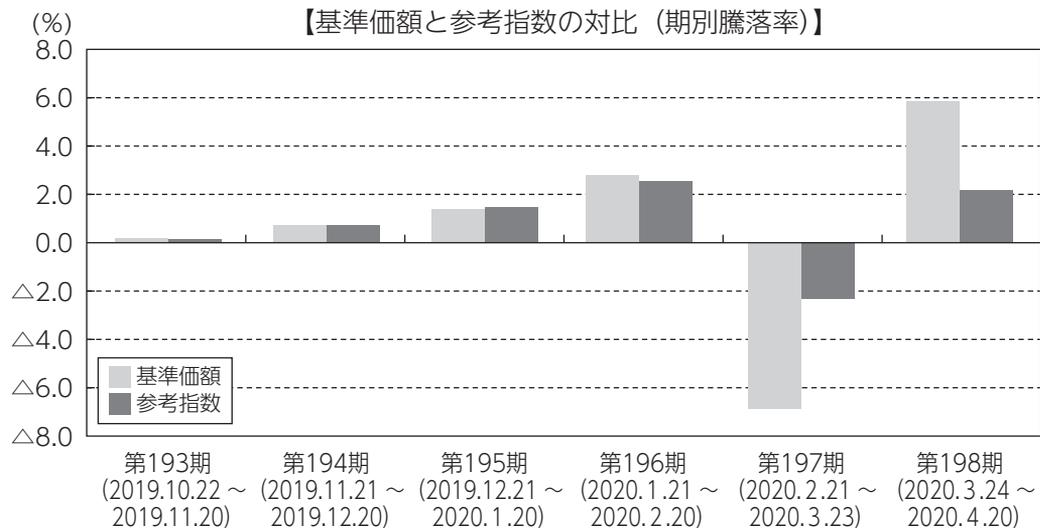
(注) 比率はルーミス米国投資適格債券マザーファンドの債券部分を100%換算したものをを用いています。

(注1) 比率はルーミス米国投資適格債券マザーファンドの債券部分を100%換算したものをを用いています。

(注2) 格付はS & P、Moody'sの高いほうの格付を採用しています。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額（分配金再投資ベース）と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

当作成期の収益分配金は、利息収入相当分を中心とし、基準価額の水準、市況動向等を勘案して、下記のとおりといたしました。なお、収益分配に充てなかった収益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第193期	第194期	第195期	第196期	第197期	第198期
	2019年10月22日 ~2019年11月20日	2019年11月21日 ~2019年12月20日	2019年12月21日 ~2020年1月20日	2020年1月21日 ~2020年2月20日	2020年2月21日 ~2020年3月23日	2020年3月24日 ~2020年4月20日
当期分配金（税引前）	15円	15円	15円	15円	15円	15円
対基準価額比率	0.19%	0.19%	0.19%	0.18%	0.20%	0.19%
当期の収益	12円	15円	15円	15円	13円	15円
当期の収益以外	2円	-円	-円	-円	1円	-円
翌期繰越分配対象額	184円	187円	196円	201円	199円	203円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

「ルーミス米国投資適格債券マザーファンド」受益証券の組入比率を高位に維持する方針です。

●ルーミス米国投資適格債券マザーファンド

米国では新型コロナウイルスの感染拡大により景気下押し圧力がかかるなか、迅速な金融支援が行われている点を評価しています。米国投資適格社債市場は、短期的には値動きの荒い場面も想定されますが、中長期的には大型経済対策などが景気の下支えになることが期待されることから堅調に推移するものと予想します。

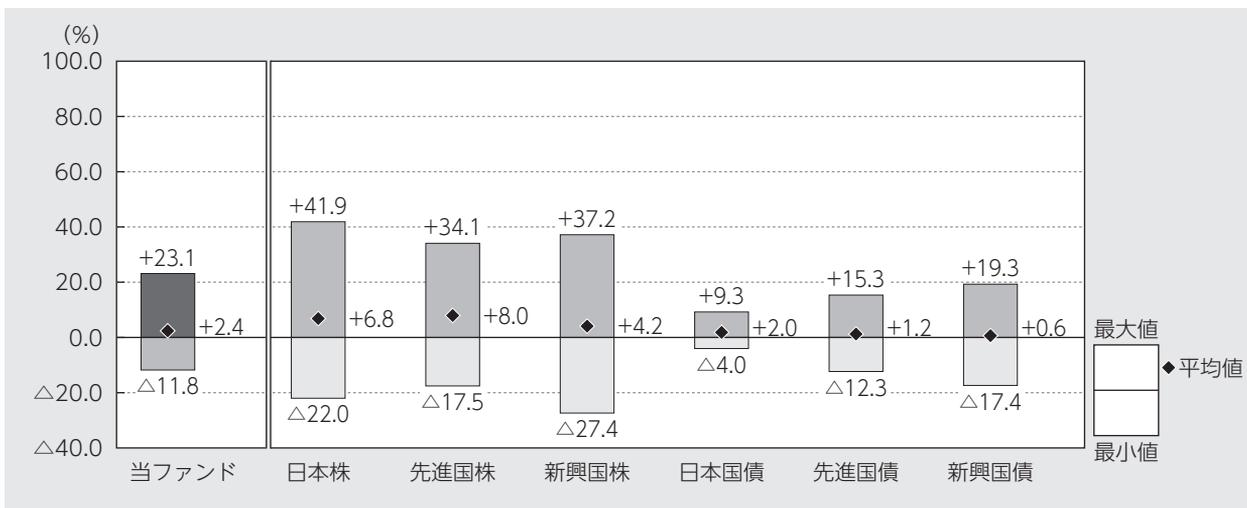
引き続き発行体のクオリティを重視しつつ米国の投資適格債券に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中・長期的な成長を目指します。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2003年10月31日から無期限です。	
運用方針	主として米国の米ドル建て公社債に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中・長期的な成長を目指します。	
主要投資対象	ルーミス米国投資適格債券ファンド [毎月決算型]	ルーミス米国投資適格債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	ルーミス米国投資適格債券マザーファンド	主として米国の米ドル建て公社債を主要投資対象とします。
運用方法	<p>投資を行う公社債の格付けについては、原則として取得時においてBBB-（Baa3）格以上の格付けを有する公社債に投資を行うとともに、ファンド全体の加重平均格付けをA-（A3）格以上に維持します。</p> <p>外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>ルーミス米国投資適格債券マザーファンドにおける円の余資運用以外の運用の指図に関する権限を、ルーミス・セイレス・アンド・カンパニー・エル・ピーに委託します。</p>	
分配方針	<p>第3期以降の每期、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます。以下同じ。）等の全額を分配対象額の範囲とし、分配金額は、原則として利息収入相当分を中心とし、委託会社が基準価額の水準、市況動向等を勘案して決定します。</p> <p>なお、売買益については、原則として毎年6月および12月の決算時に分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合ならびに委託会社が基準価額の水準、市況動向を勘案したうえで、分配を見送る場合があります。</p>	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用しています。（ファミリーファンド方式とは、投資者の皆さまからお預かりした資金をまとめてベビーフンドとし、その資金をマザーファンドに投資することにより、その実質的な運用をマザーファンドで行う仕組みです。）

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2015年4月～2020年3月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPMオルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容 (2020年4月20日現在)

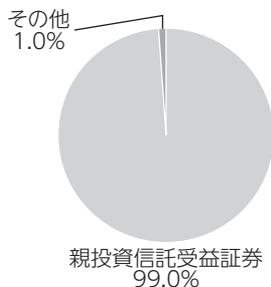
◆組入ファンド等 (組入ファンド数：1ファンド)

	第198期末
	2020年4月20日
ルミス米国投資適格債券マザーファンド	99.0%
その他	1.0

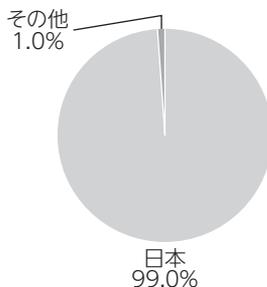
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

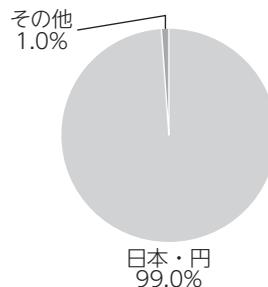
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

純資産等

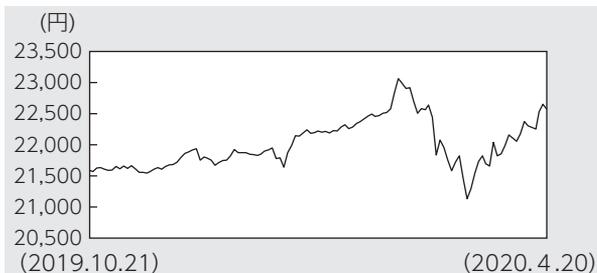
項目	第193期末	第194期末	第195期末	第196期末	第197期末	第198期末
	2019年11月20日	2019年12月20日	2020年1月20日	2020年2月20日	2020年3月23日	2020年4月20日
純資産総額	5,533,259,969円	5,570,941,873円	5,635,233,186円	5,657,774,613円	5,234,147,831円	5,524,223,139円
受益権総口数	7,070,596,149口	7,079,715,533口	7,077,078,050口	6,925,504,442口	6,892,856,307口	6,886,108,715口
1万口当たり基準価額	7,826円	7,869円	7,963円	8,169円	7,594円	8,022円

(注) 当作成期間 (第193期～第198期) 中における追加設定元本額は91,676,570円、同解約元本額は357,251,766円です。

組入ファンドの概要

【ルーミス米国投資適格債券マザーファンド】（計算期間 2019年10月22日～2020年4月20日）

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄

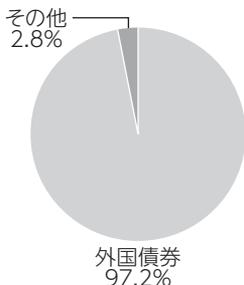
銘柄名	通貨	比率
US T N/B 4.25 11/15/40	アメリカ・ドル	10.2%
US T N/B 3.75 11/15/43	アメリカ・ドル	4.6
US T BILL 05/21/20	アメリカ・ドル	3.1
US T N/B 2.625 06/15/21	アメリカ・ドル	3.0
CONAGRA BRANDS INC 8.25 09/15/30	アメリカ・ドル	1.9
US T N/B 2.125 05/31/26	アメリカ・ドル	1.4
TELEFONICA 8.25 09/15/30	アメリカ・ドル	1.3
BARCLAYS PLC 2.875 06/08/20	アメリカ・ドル	1.3
EQUIFAX INC 7.0 07/01/37	アメリカ・ドル	1.2
US T N/B 1.25 08/31/24	アメリカ・ドル	1.2
組入銘柄数		265銘柄

◆1万口当たりの費用明細

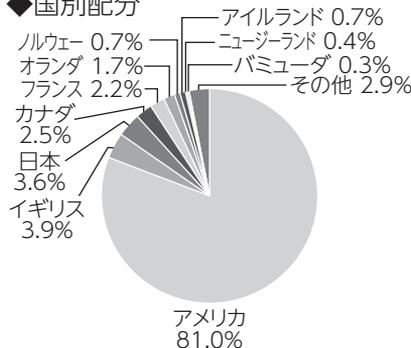
項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用)	5円 (5)	0.022% (0.022)
合計	5	0.022

期中の平均基準価額は22,006円です。

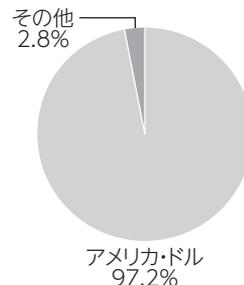
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 国別配分につきましては発行国（地域）で表示しております。

(注6) 国別配分につきましては、上位11位以下をその他に含めて集計しています。

(注7) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

<当ファンドの参考指数について>

●ブルームバーグ・バークレイズ米国政府／クレジット指数（為替ノーヘッジ・円ベース）

ブルームバーグは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーの商標およびサービスマークです。バークレイズは、ライセンスに基づき使用されているバークレイズ・バンク・ピーエルシーの商標およびサービスマークです。ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社（以下「ブルームバーグ」と総称します。）またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・バークレイズ・インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

●「東証株価指数（TOPIX）」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所（㈱東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、㈱東京証券取引所が有しています。

●「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

●「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

●「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

●「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

●「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバシファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(このページは白紙です)

